3 尚絅学院大学の教育課程

▶ディプロマ・ポリシー
全学のディプロマ・ポリシーに加え、各学類でもディプロマ・ポリシーを設けている。
人文社会学類：参照 p.50
心理学類　：参照 p.62
子ども学類　：参照 p.67
学校教育学類：参照 p.73
健康栄養学類：参照 p.80

1．ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学における所定の課程を修めるとともに、建学の精神を踏まえ、予測困難で変化の激しい現代社会の様々な課題に主体的に取り組んでいくメンタリティと教養を備え、多様化の進むグローバル社会にあって総合的な人間理解のための基礎的知識を身につけ、これらを総合して地域社会に貢献する能力と行動力を身につけた者に、卒業を認め、学士の学位を授与します。具体的には、以下の能力の獲得、態度の涵養を重視します。

(1) 共感力（自分に誇りを持ち、他者との違いを理解した上で、他者を尊敬する力）
(2) 倫理観、社会的責任感
(3) コミュニケーション能力
(4) 基礎的・汎用的知識やスキル（専門分野に限らず一般教養も含む）
(5) 批判的思考力・創造的思考力
(6) グローバルな視野・地域的志向
(7) 自己管理能力
(8) 協働力（チームワーク、リーダーシップ）
(9) 挑戦する力

▶カリキュラム・ポリシー
全学のカリキュラム・ポリシーに加え、各学類でもカリキュラム・ポリシーを設けている。
人文社会学類：参照 p.50
心理学類　：参照 p.62
子ども学類　：参照 p.67
学校教育学類：参照 p.73
健康栄養学類：参照 p.80

2．カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

本学の教育課程は、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力・態度を育成するため、次の方針に沿って編成・実施をしています。

(1) 教養教育科目のみならず、専門教育科目においても、大学全体としてのディプロマ・ポリシーとの関連を意識した到達目標を掲げ、必修科目、選択科目を体系的に配置し、履修の要件を設定します。カリキュラム系統図、カリキュラムマップなどを明示するとともに、個々の学生が体系的な学びができるように支援します。
(2) 学生の入学前の学習状況に配慮しつつ、大学の学びへと早期に転換を促す授業科目を配置します。
(3) 多様な学生に対応し、所属学類を越えた分野横断的な履修などを可能とします。
(4) 個々の学生が多様な視点と深い専門性を獲得するため、対話型授業などを行う少人数教育の環境を整備します。特に、各学類の特性に応じ、卒業研究またはゼミ等への全員の参加を確保します。
(5) 現場主義の実践的教育を通じ、学外の多様な人々との交流を通じた学びを重視します。このため、全学生が各学類所定の現場体験学習プログラムを履修できるようにします。
(6) 能動学習や課題解決型学習など、各授業科目の目標達成のために適切な方法による教育を実施し、授業外課題などもシラバスに明示し、学生の主体的な学びを促します。
(7) 各授業における到達目標に即した成績評価方法・基準を予めシラバスに明記し、授業実施後に成績評価を厳格に行うとともに、総合的な学習到達度を学生調査などで評価します。

3．カリキュラムの編成

本学の教育目標は「本学は、キリスト教の精神に基づき人格の陶冶を目指し、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究すると共に、国際的視野に立って文化の向上と人類の福祉に貢献できる人材を育成することを目的とする。」（学則第１条）と示されています。教育目標を達成するために教育課程を区分し、以下の通りの科目を配置します。

▶カリキュラム表
人文社会学類：参照 p.56～60
心理学類　　：参照 p.65・66
子ども学類　：参照 p.70～72
学校教育学類：参照 p.77～79
健康栄養学類：参照 p.83～85

●教養教育科目

全学類を対象に様々な問題を抱えた現代社会の様相を広い視野で洞察する目を養い、総合的な判断力を培うと共に、時代が求める基礎的な実力を育成する科目

▶教養教育科目
人文社会学類：参照 p.56
心理学類　　：参照 p.65
子ども学類　：参照 p.70
学校教育学類：参照 p.77
健康栄養学類：参照 p.83

●専門教育科目

全学共通の教養教育科目に加え、学類ごとに科目をいくつかの区分に分け、学生の興味・関心に応じて、段階的・体系的な履修ができるよう授業科目を配置している科目

▶専門教育科目
人文社会学類：参照 p.57～60
心理学類　　：参照 p.66
子ども学類　：参照 p.71・72
学校教育学類：参照 p.78・79
健康栄養学類：参照 p.84・85

■人文社会学類

「学類コア科目」
　学類の基盤となる学問分野の基礎的な知識を人文社会学の視点から学ぶ科目
「専門基礎科目」
　各領域に関する基礎的な知識を学ぶ科目
「専門応用科目」
　基礎科目を踏まえて専門性を高める科目
「総合科目」
　獲得した知識・技能を総合的に活用する科目
「自由科目」
　学類の学びに加え資格取得を目指すことができる科目

■心理学類

人の心に関する問題発見力、問題分析力、問題解決力を身につけた人を育てる科目

■子ども学類

保育者に必要な理論と実践力を持ち、感性豊かな表現力を身につけた人を育てる科目

■学校教育学類

教員に必要な理論と実践力を備え、教育現場の課題を解決できる力を身につけた人を育てる科目

■健康栄養学類

管理栄養士に必要な知識と技術を持ち、豊かな人間性と実践力を身につけた人を育てる科目

●他学類開放科目

所属学類の枠を越えて自分の学びたいことを自由に選択できる科目。修得した単位は卒業要件に算入されます。

▶他学類開放科目
各学類で開講している科目はカリキュラム表に示している。
参照 p.86・87

●資格取得に関する科目

各種資格を取得するために必要な科目

▶資格
参照 p.106

●自由科目

自由履修できるが卒業要件に算入されない科目

▶自由科目
各学類の自由科目はカリキュラム表に示している。
参照 p.60・72 等